



2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

※2025年2月21日開催の臨時株主総会にて「決算期(事業年度の末日)変更のための定款一部変更の件」の承認を受け、決算期を3月に変更しています。

Abalance株式会社

2025年3月3日



アメリカ工場



エチオピア工場

コーポレート・ガバナンス体制の強化

2025年2月21日開催の臨時株主総会「決算期(事業年度の末日)変更のための定款一部変更の件」で承認

■内容:決算期の変更

- ・変更前 2024年6月期(2024年7月1日~2025年6月30日)
- ・変更後 2024年3月期(2024年7月1日~2025年3月31日)

■目的:グローバル事業運営の円滑化

経営情報の適時性及び透明性の向上

Executive Summary

■ 中間期決算(実績): 前年同期比減収減益

- ・米国市場の競争環境に変化。2Qは、インド・OEM戦略で収益改善

■ 通期決算(予想): 前期比減収減益、各段階利益は実質下方修正

- ・米国市場における関税政策先行き不透明で厳しい状況が継続

■ 太陽光パネル製造事業のグローバル成長戦略

- ・エチオピアにおけるセル工場の建設(2025年3月竣工)
- ・米国におけるパネル工場の建設(2025年3月第1フェーズ竣工)

■ グリーンエネルギー事業の国内成長戦略

- ・事業環境の変化に対応したフロー及びストック型ビジネスを展開

2025年3月期中間期決算

(会計期間:2024年7月1日~2024年12月31日)

- 売上高は、米国の関税政策など太陽光パネル市場の環境変化から前年同期比629億円減少の456億円
- 営業利益は、前年同期比69億円減少の32億円
- ベトナム子会社の特別損失を計上(405百万円：固定資産除却損270百万円、追徴金135百万円)

(単位:億円)	2024年6月期中間			2025年3月期中間(※)			通期計画比 (期初・12か月予想)	
	第1四半期	第2四半期	累計	第1四半期	第2四半期	累計	通期	進捗率
売上高	577	508	1,085	217	240	456	800	57%
営業利益	47	54	101	13	18	32	100	32%
経常利益	45	60	105	4	29	33	100	33%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17	19	36	▲ 6	9	3	60	6%
営業利益率	8.1%	10.6%	9.3%	6.2%	7.6%	6.9%	12.5%	-

※2025年2月14日に「2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信」を公表しています。

※2025年2月21日開催の臨時株主総会にて「決算期(事業年度の末日)変更のための定款一部変更の件」が承認、決算期を3月に変更

セグメント別決算概要

(会計期間:2024年7月1日~2024年12月31日)

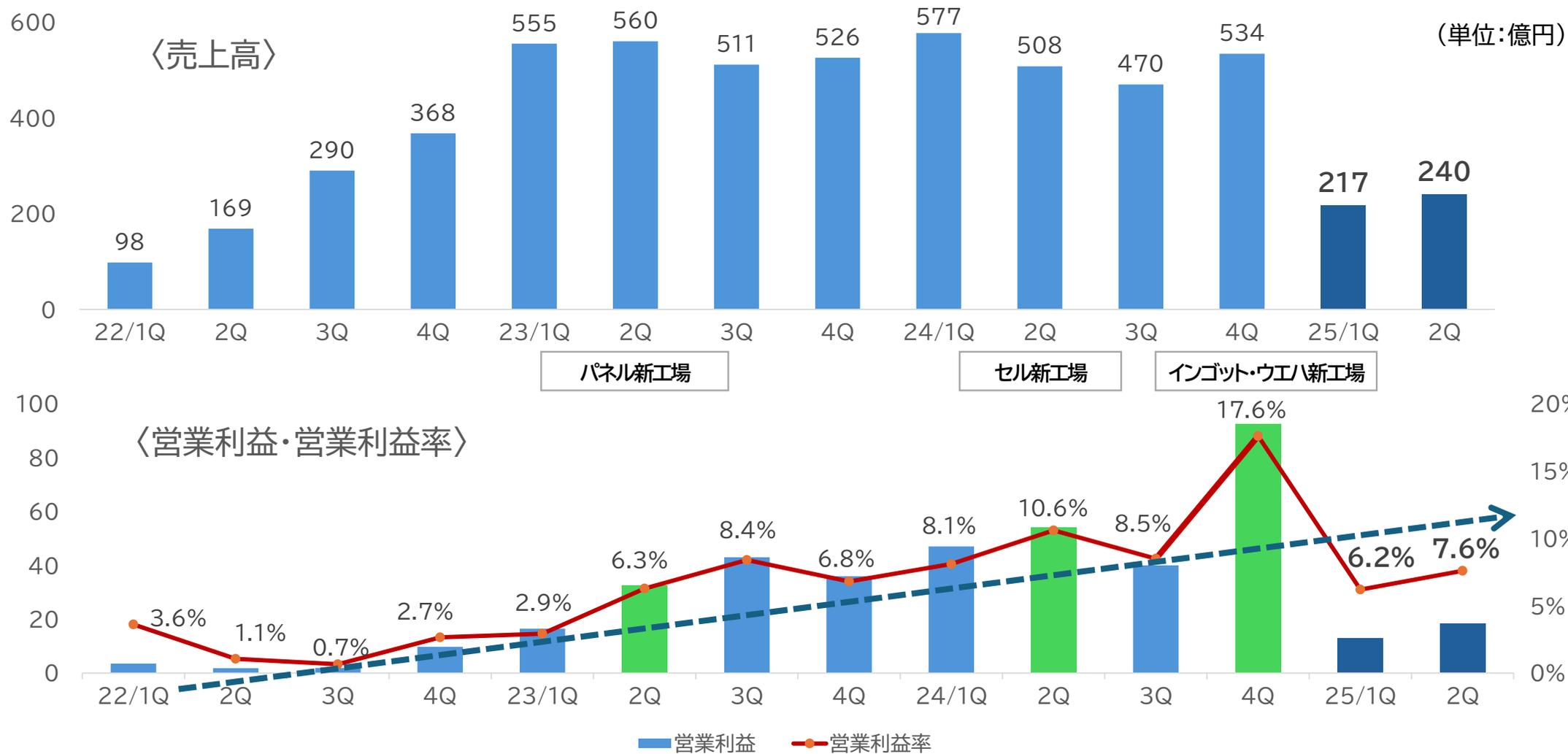
■太陽光パネル製造事業はセグメント全体の約9割を占める

■グリーンエネルギー事業は前年同期比増収減益、フロー型ビジネスでの一時的な収益低下による利益減

(単位:億円)	2024年6月期中間			2025年3月期中間			対前年同期比	
	第1四半期	第2四半期	累計	第1四半期	第2四半期	累計	増減	増減率
〈売上高〉	577	508	1,085	217	240	456	▲ 629	▲58%
太陽光パネル製造事業	555	488	1,043	197	213	410	▲ 633	▲61%
グリーンエネルギー事業	21	19	39	18	24	42	2	6%
その他(※)	2	2	3	2	3	5	1	39%
〈セグメント利益〉	47	54	101	13	18	32	▲ 69	▲69%
太陽光パネル製造事業	44	57	101	13	20	33	▲ 68	▲67%
グリーンエネルギー事業	5	1	6	3	0.1	3	▲ 3	▲54%
その他(※)	▲ 2	▲ 4	▲ 6	▲ 2	▲ 2	▲ 4	-	-

※その他には、「IT事業」「光触媒事業」「建機販売事業」及び本社費などが含まれています。

連結業績の推移



株主還元(配当)

■方針：安定的かつ継続的な配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用により企業競争力と株主価値の向上を図ります。

■24年12月末(中間期)：配当見送り、期末配当予想:未定

(単位:円)	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/3期
中間配当	7	7	8	3	3	0 (24年12月末)
期末配当	10	10	10	5	5	(未定)
年間配当	17	17	18	8	8	(未定)

※23/6期以降は、株式を三分割した後の1株当たり配当金です。

2025年3月期通期業績予想 (会計期間:2024年7月1日~2025年3月31日)

- 太陽光パネル製造事業の事業環境は、世界的な需給緩和による市況低迷及び米国市場における関税政策の先行きに対する不透明感から厳しい状況が継続
- 安定したグローバル供給体制構築の戦略的投資(エチオピア及び米国工場の建設:2025年3月竣工)

(単位:億円)	2025年3月期予想(※)	現計画 (12か月換算)	期初計画 (12か月換算)	2025年3月期	
	通期	通期	通期	中間期	進捗率
売上高	600	800	800	456	76%
太陽光パネル製造事業	540	720	700	410	76%
グリーンエネルギー事業等	60	80	100	47	78%
営業利益	51	68	100	32	62%
経常利益	51	68	100	33	64%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10	13	60	3	35%

※2025年2月14日に「決算期変更に伴う通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しています。

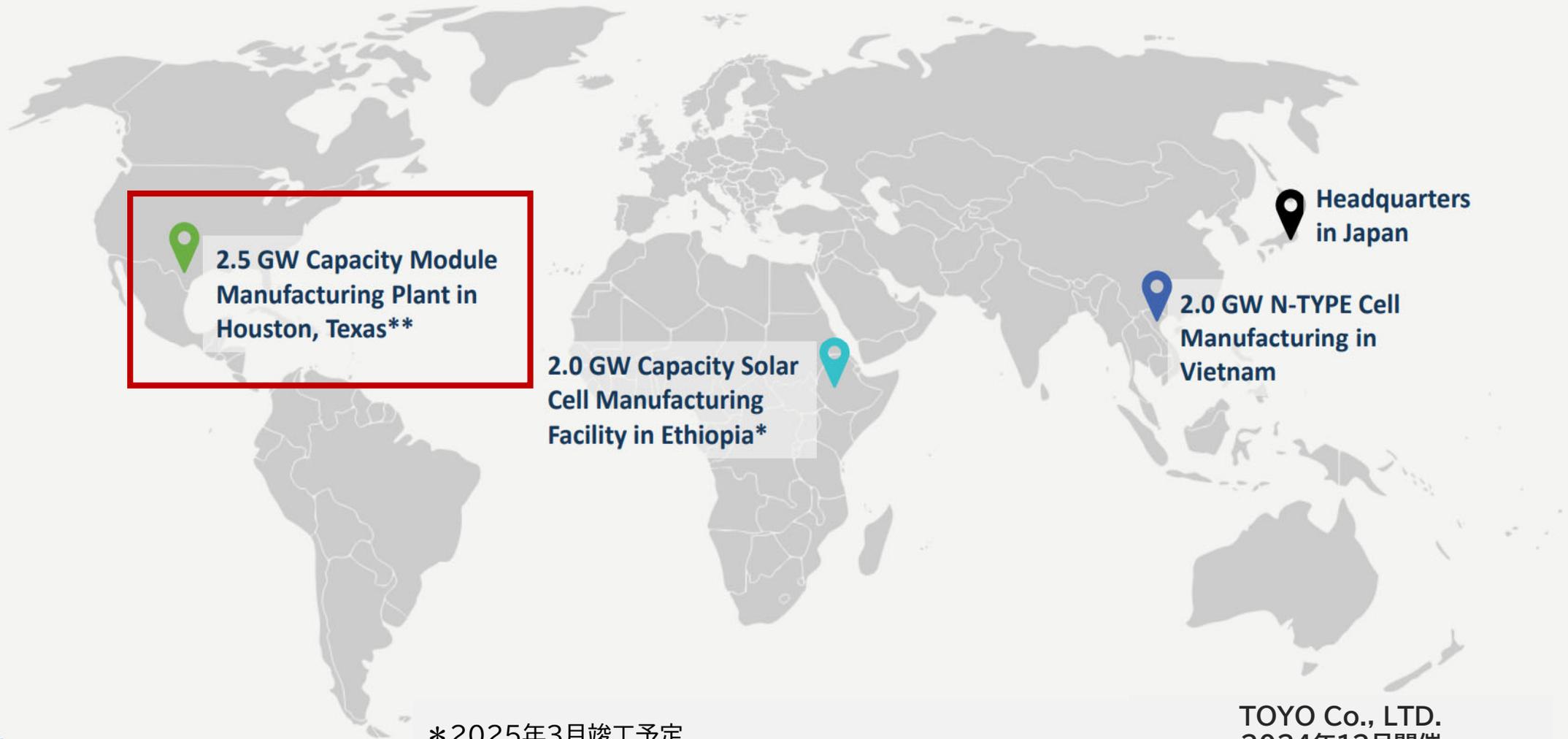
太陽光パネル製造事業のグローバル成長戦略

グローバル・サプライチェーン構築による成長戦略の推進

3エリア体制による競争力あるサプライチェーンの構築

エリア	アジア(VSUN)	アメリカ(TOYO)	アフリカ(TOYO)
現在の事業	インゴット・ウエハ・パネル (ベトナム)	セル(ベトナム) パネル(アメリカ)	セル (エチオピア)
成長戦略	販売先の多角化 (欧州・インド等)	米国の供給拠点の構築 (パネル及びセル生産)	安定供給体制の構築 (米国等への輸出)
進捗状況	EcoVadis社 「ブロンズ」評価 4年連続獲得	2025年3月 パネル工場竣工 (能力:1GW)	2025年3月 セル工場竣工 (能力:2GW)

TOYO's Global Manufacturing Footprint



* 2025年3月竣工予定

** 2025年3月竣工予定(Ph1・1GW)、同年内(Ph2・2.5GW)

TOYO Co., LTD.
2024年12月開催
機関投資家向け説明会資料より抜粋

〈新規〉テキサス・プロジェクト

■会社名 : TOYO Solar Texas LLC

■所在地 : 米国テキサス州

■事業内容: 太陽光パネルの製造及び販売

■生産能力及び投資金額

〈第1フェーズ〉

竣工予定: 2025年3月

生産能力: 1GW

投資金額: 約45億円

〈第2フェーズ〉

竣工予定: 2025年末

生産能力: 1.5GW

投資金額: 約90億円

※2029年の生産能力目標は6.5GW

■建屋及び土地: リース契約

〈VSUNの米国での事業展開〉

米国内の顧客ロケーション



- ▶ 太陽光発電所向け3.2GW(2023年)
- ▶ 8GWの太陽パネル設置(累計)
- ▶ 6百万世帯への電力供給(年間)
- ▶ 19百万トンの二酸化炭素排出削減(累計)

TOYO Co., LTD.
2024年12月開催
機関投資家向け説明会資料より抜粋

グリーンエネルギー事業の国内成長戦略

安定した事業基盤の構築による持続的な事業価値の向上

国内の太陽光発電市場の成長ステージ変化に対応した事業の展開

維持(フロー型)

- 既存の事業基盤の維持
- 太陽光発電設備の物品販売
- 小売量販店のチャネルを活用した販売体制の構築

充実(ストック型)

- 太陽光発電所の自社保有化
- 業務提携及びM&Aによる事業基盤の拡大
- 保有資産の収益性評価

成長(新規事業)

- 新規事業領域への進出による新たな収益源の確保
- 系統蓄電池事業
- 太陽光パネルのリユース及びリサイクル事業

国内の太陽光発電市場は緩やかな成長ステージに移行し、競争環境が変化

TOYO's Global Manufacturing Footprint



* 2025年3月竣工予定

** 2025年3月竣工予定(Ph1・1GW)、同年内(Ph2・2.5GW)

TOYO Co., LTD.
2024年12月開催
機関投資家向け説明会資料より抜粋